



「看護部の協力的な働き方」で勤務時間のコスト削減が実現している。看護部長（前）と医師らで話し合う場面。S&Pシステム

●勤務形態改善

- ・3交代勤務→2交代勤務へ変更、同種労働3人→4人体制へ、勤務時間の短縮
- ・勤務交代による病院側での大幅な短縮、有効稼働の改善アップ、業務に合わせた勤務形態の構築
- ・個人教育（標準1人に対し、2人のアプリアスター体制）
- ・看護部内による看護部会員の確保（年1回）

●子育て支援と仕事の両立

- ・産休取得後復帰者の勤務時間短縮および出勤回数を月2回まで
- ・院内保育所の創設（保育士2人→5人への増員）
- ・病院側労働会社（1時間）に保育料割引制度

「看護部が協力的な働き方」で勤務時間のコスト削減が実現している。看護部長（前）と医師らで話し合う場面。S&Pシステム

「看護部が協力的な働き方」で勤務時間のコスト削減が実現している。看護部長（前）と医師らで話し合う場面。S&Pシステム

「看護部が協力的な働き方」で勤務時間のコスト削減が実現している。看護部長（前）と医師らで話し合う場面。S&Pシステム

## 勤務形態見直し離職率改善



院内研修での改善方法を模範。勤務がよくなりましたと笑顔で語るようになり

の成果が表れた。

「看護部が協力的な働き方」で勤務時間のコスト削減が実現している。看護部長（前）と医師らで話し合う場面。S&Pシステム

「看護部が協力的な働き方」で勤務時間のコスト削減が実現している。看護部長（前）と医師らで話し合う場面。S&Pシステム